

～下記の研究を行います～

『重症救急患者での赤血球容積分布幅に関する研究』

【研究責任者】救命救急センター 小島将裕

【研究の目的】赤血球容積分布幅は通常の血液検査を行うことで得られるデータで、血液中にある赤血球の大きさのバラつきを見ているデータです。以前から貧血の原因の診断のために用いられていましたが、慢性炎症や栄養不良などがあると上昇することが知られてきました。近年は循環器疾患や腎疾患や集中治療領域などで生命予後とも関連することが報告されています。一方で、集中治療を要するような重症の救急患者の赤血球分布容積幅の値がどのように入院中に変化していくのか、そしてその変化が生命予後とも関連するのかわかりません。この研究ではそれらを明らかにすることを目的にしています。

【研究の期間】研究許可日～2023年3月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2016年4月1日～2021年3月31日まで救命救急センターに入院された方

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：本研究のために採取する試料はありません

情報：入院中に行った血液検査の結果（赤血球や白血球・血小板・生化学検査・凝固検査等）、入院時の身長や体重等の情報、入院病名や合併症や入院日数等の情報 等

【研究の資金源】

ありません

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研

究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 救命救急センター 医員 小島将裕